

みずほCustomer Desk Report 2018/04/09 号(As of 2018/04/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.22
TKY 9:00AM	107.08	1.2252	131.20	1.4006	0.7669
SYD-NY High	107.46	1.2291	131.62	1.4107	0.7699
SYD-NY Low	106.78	1.2215	131.09	1.3983	0.7658
NY 5:00 PM	106.94	1.2280	131.33	1.4092	0.7677
NY DOW	23,932.76	▲ 572.46	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	6,915.11	▲ 161.44	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,604.47	▲ 58.37	米国2年債	2.2682	▲ 3.65bp
日経平均	21,567.52	▲ 77.90	米国5年債	2.5867	▲ 5.22bp
TOPIX	1,719.30	▲ 5.31	米国10年債	2.7744	▲ 5.85bp
シカゴ日経先物	21,460	▲ 445.00	独10年債	0.4975	▲ 2.60bp
ロンドンFT	7,183.64	▲ 15.86	英10年債	1.3935	▲ 2.30bp
DAX	12,241.27	▲ 63.92	豪10年債	2.6615	0.10bp
ハンセン指数	29,844.94	326.25	USDJPY 1M Vol	7.24	▲ 0.26%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.75	▲ 0.05%
NY金	1,336.10	7.60	USDJPY 6M Vol	8.10	0.00%
WTI	62.06	▲ 1.48	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	192.25	▲ 1.56	EURJPY 3M Vol	7.98	▲ 0.09%
ドルインデックス	90.11	▲ 0.35	EURJPY 6M Vol	8.38	▲ 0.07%

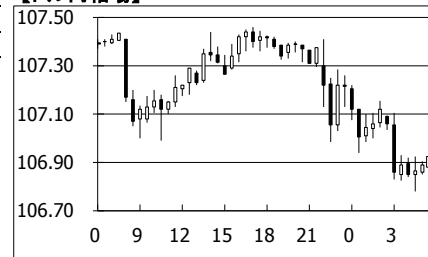
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月6日	16:30	欧	クレーECB専務理事 講演「貿易戦争は非伝統的金融政策措置の必要性高める」	
	17:10	独	マクタイト小売業PMI	3月 51.5 -
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	3月 103K 185K
	21:30	米	失業率	3月 4.1% 4.0%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.7% 0.3%/2.7%
4月7日	02:30	米	パウエルFRB議長 講演「漸進的な利上げ継続を支持」	

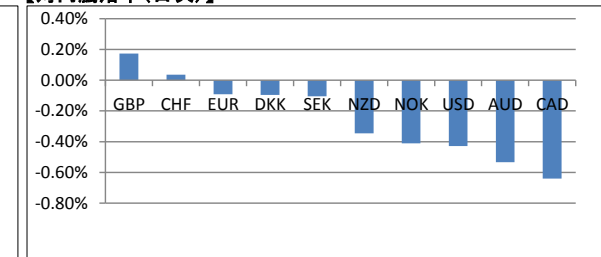
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月10日	01:45	欧	プラートECB専務理事 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.30-107.70	1.2180-1.2300	130.50-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落。雇用統計が市場予想を下回ったことや、ムニューチン米財務長官が貿易戦争となる一定水準のリスクがあると述べたこと等を背景に、ドル円は下落し、そのままクローズ。本日については、週末に貿易戦争懸念などが悪化しなかったこと等を背景に、底堅いを想定する。

東京	朝方に107円台半ばで推移していたドル円は、トランプ米大統領が1000億ドルの対中追加関税の検討を通商代表部(USTR)に指示したことが伝わると後退しかけた米中貿易摩擦懸念が再び高まる状況に107円ちょうど付近まで急落する展開となった。その後も上値の重い展開が続く中、東京時間のドル円は107.08レベルでオープン。仲値にかけて小幅に上昇するも、仲値後に転落する展開となり東京時間安値となる106.99まで下落。その後、全般的にドル買いとなる中、前日比マイナス圏に落ち込んでいた日経平均株価がプラス圏に浮上する動きも相俟ってドル円は東京時間高値となる107.44まで上昇。その後は、再び前日比マイナス圏に下落する日経平均株価を横目にドル円は底堅い推移が続き、結局107.34レベルで海外に渡った。(東京 15:30)
ロンドン	米3月雇用統計の発表を控えロンドン市場は全般的に様子見となった。ロンドン時間のドル円は107.34レベルでオープン。米国時間に控える米経済指標の発表を待ちながら107.31-107.46の小幅な推移となり107.31レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルも小動きとなった。1.3995レベルでオープン。2017年第4四半期の英労働生産性は、前年比2.1%(前回1.3%から1.4%へ上方修正)と発表されるも市場への影響は限定的。1.40台を挟んで動意に乏しい展開が続き、結局1.4005レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トル・西海)
ニューヨーク	ドル円は107.31レベルでNYオープン。注目の米3月雇用統計は、非農業部門雇用者数変化が予想を下回り、失業率も予想を上回ったことから一旦107.13まで下落するが、平均時給が予想と一致したものの、前月から上昇したことや、不完全雇用率が低下したこともあり107.41まで戻す。その後は中国側が、米国が追加関税リストを出すなら直ちに報復措置を取るとの強固な姿勢を示したことから貿易戦争懸念にドル売りが強まり、また米株市場の下落を受けた円買いも相俟って、106.94まで下落する。その後はパウエルFRB議長の講演を目前に、ムニューチン米財務相が「中国と貿易戦争になる可能性がある」とのコメントを示すと株式市場が下げ幅を拡大。同動きに円買いが強まり、ドル円はこの日の安値となる106.78まで下落する。終盤に掛けては週末を控え狭いレンジでの開張とした推移が続き106.94レベルでクローズした。パウエル議長の講演内容はややハト派であったが特段目新しい内容ではなかった。一方、ユーロドルは独2月鉱工業生産が予想に反しマイナス成長となったことから、1.2215まで下落し、1.2232レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受け一旦ドルが買われたことから1.2220まで下落するが、米中貿易戦争懸念にドル売りが強まり1.2280まで上昇する。その後は1.2270付近での推移が続くも、ムニューチン米財務相の発言を受けてドル売りが加速する1.2291まで戻し、結局1.2280レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・鶴田